

飛騨地域4蔵元が県知事賞



県知事賞に輝いた4蔵(前列)と県議会議長賞の2蔵の代表者ら＝高山市
上一之町、飛騨酒造組合

新酒造り、挑戦の励みに

県酒造組合連合会の第28回県新酒鑑評会で、最高位である県知事賞4部門を初めて飛騨の酒蔵が独占し、26日、高山市上一之町の飛騨酒造組合で「受賞報告会」が開かれた。
(森嶋哲也)

県鑑評会で初の独占 受賞喜びを報告

新酒鑑評会は県内30社から136点が出品され、純米吟醸、吟醸、純米、本醸造の4分野で審査された。県知事賞は純米吟醸酒が渡辺酒造店(飛騨市)の「蓬萊」、吟醸酒が老田酒造店(高山市)の「飛騨自慢鬼(ころし)」、純米酒は原田酒造店(同)の「山車」、本醸造酒には蒲酒造場(飛騨市)の「やんちゃ酒」が受賞。2位に当たる県議会議長賞は純米吟醸酒の部で船坂酒造店(高山市)の「深山菊」、吟醸酒の部で天領酒造(下呂市)の「天禄拝領」が選ばれた。

報告会には6蔵の代表者が出席。組合副理事長である渡辺酒造店の渡辺久憲社長(52)が全体の受賞報告を行った後「コロナ禍での酒

造りだったが、例年より米質がよく、満足のいく仕上がりになった」と語った。各蔵の代表者も「この蔵も華やかなよい酒ができた中の受賞で励みになる」「一つ一つ丁寧に造れた」「新しいチャレンジが評価された」などと、思いや喜びを語った。

その他の受賞は次の通

り。

△県酒連会長賞▽純米吟醸酒の部 深山菊(船坂酒造店) 福寿田満(天領酒造) 蓬萊(渡辺酒造店)▽吟醸酒の部 飛騨自慢鬼(ころし)(老田酒造店) 四ツ星(船坂酒造店) 奥飛騨(飛騨酒造)天禄拝領(天領酒造) 蓬萊(渡辺酒造店)▽純米酒の部 深山菊(船坂酒造店) 山車(原田酒造店) 蓬萊(渡辺酒造店)▽本醸造酒の部 天涼(天領酒造) 蓬萊(渡辺酒造店) やんちゃ酒(蒲酒造場)

飛騨地域の蔵元 県知事賞独占

岐阜市で三月十七日に開かれた県新酒鑑評会で、最高位に当たると県知事賞の全四部門を、飛騨地域の蔵元が独占して受賞した。飛騨酒造組合によると、初めての快挙。同組合の渡辺久憲副理事長(五)は「これを弾みに、飛騨の地酒の魅力を国内外により広めていきたい」と喜んでいる。

(横田浩熙)

新酒鑑評会

鑑評会では「純米吟醸酒」「吟醸酒」「純米酒」「本醸造酒」の四部門に、三十蔵が計百三十六点を出品した。県知事賞を受けたのは渡辺酒造店(飛騨市)の「蓬萊」―純米吟醸酒、老田酒造店(高山市)の「飛騨自慢鬼ころし」―吟醸酒、原田酒造場(同)の「山車」―純米酒、蒲酒造場(飛騨市)の「やんちゃ酒」―本醸造酒の四銘柄。また、県知事賞に次ぐ

全4部門 初の快挙

報告会で喜び「魅力内外に」

県議会議長賞に、船坂酒造店(高山市)の「深山菊」―純米吟醸酒―と、天領酒造(下呂市)の「天禄拝領」―吟醸酒―が輝いた。

二十六日に高山市内で開かれた受賞報告会で、老田酒造店の茂島義弘杜氏(五)は「今年は米の質が良く、造りやすい気候だった。賞を頂き、励みになる」と感謝した。原田酒造場の菅田雅之杜氏(四)は「コロナ禍で仕込みの量が減り、一つ一つの酒に力を入れることができたのが、受賞につながった」と分析。蒲酒造場の蒲敦子社長(五)は「自信を持って酒造りができるようになった」と受賞を喜んだ。

◇(この他の受賞銘柄)

【県酒連会長賞】純米吟醸酒

福寿田満(天領酒造)▽吟醸酒

四ツ星(船坂酒造店)蓬萊(渡辺

酒造店)奥飛騨(奥飛騨酒造)▽

純米酒 深山菊(船坂酒造店)蓬

萊(渡辺酒造店)▽本醸造酒 天

涼(天領酒造)蓬萊(渡辺酒造

店)

鑑評会で受賞した蔵元関係者ら＝高山市上一之町で

